第4回ひたちレーシングカー大会開催

日立理科クラブでは、水ロケット教室に加え、季節や天候の影響を受けない屋内で実施可能なレーシングカー教室を実施しており、その集大成として毎年レーシングカー大会を鈴縫工業株式会社の「おひさまの恵みプロジェクト」の協賛をいただき開催しています。今回は、11月27日(日)コンパクト開催と銘打って初となる会瀬体育館のサブフロア(小体育館)を会場に行われました。

大会運営は、マスクの着用、入場時の検温と検温確認シール貼付け、密を避けるための家族単位での観戦など新型コロナの感染にも注意を払いながら行いました。開会式では来賓を代表して日立教育委員会の松本教育部長より激励のご挨拶をいただきました。

競技は、一周25mのサーキットを用い、内側と外側のレーンをそれぞれ3周走行、2回の合計タイムで順位を決めるタイムトライアル方式で行われました。競技参加者は25名(未就学児1名、小学生24名)で、熱戦が繰り広げられました。競技参加者の緊張した面持ちの中「スリー、ツー、ワン」のカウントダウンが始まり一斉にスタートを切る内外レーンの2台のレーシングカー、興奮を押さえながら自車の走行を食い入るように見つめる競技参加者の姿は大会ならではです。走行中トラブルもなく参加全車両が完走、優勝タイムは前回大会とほぼ同じで、入賞者(上位6位まで)の平均タイムで比較すると前回に比べ数秒早くなるなど激戦となりました。また、今回初の試みとしてサーキットのかたわらに設けた「保護者応援エリア」では、競技参加者の思いを乗せて走行するレーシングカーに対し、カメラ片手に必死に声援を送る姿が多く見られ、大会が盛り上がる要因ともなりました。

競技終了後は使用したサーキットを開放し、各人思い思いに自作のレーシングカーを走らせ、楽しい時間を過ごしました。

表彰式では、3位までに表彰状と副賞、さらに金、銀、銅のメダルが授与され、6位までに賞品が贈られました。今回初のサブフロア(小体育館)での開催となりましたが、会場全体が熱気に包まれ、これまでになく臨場感あふれる感動的な大会となりました。

競技結果は下表のとおりです。

《競　技　結　果》

順　位	氏　名	なまえ	学校名	学年	記　録(秒)			備　考
					1回目	2回目	合計	
優勝	岩村　英	いわむら　すぐる	水木小	3年	23.86	23.59	47.45	日立市教育長賞
準優勝	平倉　久実	ひらくら　くみ	宮田小	5年	24.87	24.25	49.12	鈴縫工業賞
第3位	蛭田　心結	ひるた　みゆう	豊浦小	3年	24.92	25.79	50.71	日立理科クラブ賞
第4位	栗原　涼	くりはら　りょう	会瀬小	3年	25.30	25.86	51.16	
第5位	萩庭　漣士	はぎにわ　れんと	大みか小	2年	25.89	26.29	52.18	
第6位	池口　怜亮	いけぐち　りょうすけ	会瀬小	4年	25.69	26.72	52.41	

全員集合

全車両検査⇒問題あればその場で修理

観戦席（競技開始が待ち遠しい）

開会式

来賓代表ご挨拶

さあスタート、緊張の瞬間

スタート！

がんばれ！

表彰式（表彰状・副賞授与）

表彰式（メダル授与）

おめでとう！（1位～6位）